



# 花火によるやけどに注意

## 事例 1

自宅の庭で花火をしていたところ、花火を持っていない左手で、火がついているところを触ってしまった。火と接触した左手や左耳などにやけどをした。

(当事者: 2歳 男児)



## 事例 2

花火が履いていたサンダルの隙間に落ちて、足をやけどした。

(当事者: 3歳 女児)

### ひとことアドバイス

- 花火は楽しい反面、火薬や火を使うため、やけどなどの事故が起きることがあります。注意して遊ぶようにしましょう。
- 子どもは大人が予想もしない動きをすることから、花火をする際は保護者など大人が必ず付き添い、子どもの行動をよく観察し危険な行為はやめさせましょう。
- 火が移りやすい素材の服や、サンダルなどの露出が多い靴を避けるなど、服装にも注意が必要です。
- 本体やパッケージなどに記載されている注意事項を必ず守りましょう。

